

# 令和5年度第11回 契約・調達委員会 審査概要

開催日時  
及び場所

令和6年3月21日（木）13:30～14:20  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階  
公益財団法人日本陸上競技連盟内 A会議室/オンライン

出席委員

世界陸上財団 事務次長（委員長）	川瀬 航司
弁護士	原澤 敦美
公認会計士	黒石 匡昭
世界陸上財団 総務企画部長	田近 隆
世界陸上財団 財務部長	前山 琢也
世界陸上財団 業務開発部長	小林あかね
世界陸上財団 競技運営部長	徳弘 欣也

（敬称略・7名）

案件1

世界陸上競技選手権大会の開催準備に係る法律相談等支援業務委託  
（単価契約）（長期継続契約）

契約方法

競争入札（希望制指名競争入札）

審査案件

概要

○ 世界陸上大会の開催に向けて、大会の関係者等と各種調整を行うに当たり、外国法を含む幅広い観点から、法的な解釈、助言、情報提供等の支援を受けることを目的とする。

○ 主な委託内容は以下のとおり

➤ 法律相談業務

- ・ 委託者の組織、体制、コンプライアンス等に関する業務
- ・ 委託者と第三者との間の取引、契約、マーケティングに関する業務
- ・ WA対応、リーガルレジスター等に関する業務
- ・ 知的財産に関する業務
- ・ 紛争処理等に関する業務

➤ 定款、諸規程、契約書その他資料等の翻訳（英訳（日英/英日））、及びその校正業務

○ 契約期間：令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

	案件 2	令和 6 年度労働者派遣（事務補助業務等）（単価契約）
審査案件	契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
	概要	<p>○ 大会の開催準備に係る事務補助として、6名の労働者派遣を委託</p> <p>○ 配置部署・主な委託内容は以下のとおり</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>① 総務企画部総務課（秘書担当） スケジュール管理・来客、電話の対応等</p> <p>② 総務企画部総務課（庶務担当） 勤怠管理、旅費支給事務・消耗品管理及び各種発注業務等</p> <p>③ 総務企画部人事課 給与関係事務・社会保険・共済組合費・互助組合会費関係事務等</p> <p>④ 財務部契約・調達課 契約関係会議の運営業務の補助・契約結果一覧や公表資料の作成等</p> <p>⑤ 財務部会計課 支払・収入・振替手続・会計帳簿の作成・整理業務の補助等</p> <p>⑥ 業務開発部業務開発課 関係団体、事業者との連絡調整・関係者スケジュールの調整等</p> </div> <p>○ 契約期間：契約確定の日の翌日から令和 7 年 3 月 31 日まで</p>
審査案件	案件 3	東京2025世界陸上競技選手権大会における会場運営等に係る基本計画策定等業務委託
	契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
概要	<p>○ 円滑な大会運営に向けて、運営に関する各種事項（諸室配置、ステークホルダー動線、什器、清掃、観客対応、装飾等）を検討し基本計画を作成</p> <p>○ 主な委託内容は以下のとおり</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【会場運営基本計画の作成】</b> 競技会場・ウォームアップ会場・練習会場等について、会場運営に必要な基礎的な計画（諸室の配置、ステークホルダーの動線、サインエージの配置、ゾーニング等の検討）を作成</p> <p><b>【観客サービス計画の作成】</b> 会場における観客サービスの提供に係る計画（観客動線、運営体制、サービス内容等の検討）の作成</p> </div> <p>○ 契約期間：契約確定の日の翌日から令和 6 年 7 月 31 日まで</p>	

案件 4	東京2025世界陸上競技選手権大会マラソン・競歩における競技実施計画等策定支援業務委託
契約方法	競争入札（希望制指名競争入札）
審査案件  概要	<p>○ マラソン・競歩競技の円滑な実施に必要な各種計画の策定等を行う。</p> <p>○ 主な委託内容は以下のとおり</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【各種計画の策定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 競技運営計画（審判員・ボランティア等の人員配置、給水所、車列の配置等の計画）</li> <li>➤ 交通規制関連計画（道路状況等の把握、規制スケジュール、一般交通の迂回路、住民への告知手法等の計画）</li> <li>➤ 警備計画（コース沿道上の警備員・係員等の人員配置等の計画）</li> <li>➤ 設営関連計画（コース上の設置物の配置等の計画）</li> </ul> <p><b>【関係団体との調整】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 各計画策定に必要な関係各所（警視庁・道路管理者・自治体等）との調整</li> </ul> <p><b>【計測】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ コース計測に関する業務（予備計測含む）の実施</li> </ul> </div> <p>○ 契約期間：契約確定の日の翌日から令和6年10月31日まで</p>
審査結果	案件1～4について、契約締結前（入札経過、契約候補者、契約金額等）の審査を実施し、了承された。
委員の 主な意見 (要旨)	<p>(案件3について)</p> <p>○原澤委員</p> <p>今回、落札候補者となった事業者に対して低入札の状況等を確認するためのヒアリングを実施したとのことだが、当該事業者が、なぜこれほどの低価格で入札することができたのか疑問が残るところである。企業の営業努力は認めるものの、著しい低価格で契約締結することで、世界陸上財団が不適切な利益供与を受けていると評価されることがないように注意していただきたい。</p>

委員の  
主な意見  
(要旨)

○黒石委員

原澤委員の懸念はわかるが、本案件は、前提として希望制指名競争入札を採用しているため、純粹に価格のみの競争により契約候補者を決めることとなる。このため、発注者である財団としては、落札後は、低入札ヒアリング等を通じて、事業者の意欲や仕様書に対する理解等を確認することや、その後のモニタリングを通じて進捗管理をしっかりとやることしかできないと思う。

本案件については、業務内容に鑑み、それほどクオリティに差が出るものではないと考え、価格競争となる希望制指名競争入札を採用した。それを前提に考えれば、落札候補者には類似大会の実績があり、戦略投資案件として受注することを希望するのであれば、それはそれで容認すべきではないかと思う。

(案件4について)

○原澤委員

落札候補者は、本件に関する知見やノウハウを有することに加え、営業戦略的な理由や人件費の精査などを理由に、低い価格で入札している。

予定価格と入札価格の乖離があまりに大きく、予定価格の形骸化につながっていく恐れがあるのではないかと懸念する。

○黒石委員

公共調達については、国の会計法に定める予定価格の制度に縛られるため、同様のプロセスをたどるが、受注事業者は、見積金額を経営戦略的な観点から引き下げて、提示してくる傾向がある。

そこで、大切なことは、発注者となる財団が、契約の目的を達成するために、契約締結後も事業者の履行状況をしっかりと注視し、一緒に伴走しながらモニタリングすることだと思う。